

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和5年度 第1号（通巻第75号） 4月27日 発行

■ CONTENTS ■

【学校長寄稿】縦と横のつながりつくる～支援を未来につなげよう～

【トピック】 令和4年度卒業生進路状況

桜、ツツジ、藤、そして様々な野の花も一斉に花開く季節。今年は例年になく春の足が速い印象です。保護者の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

今年も進路指導部では、児童生徒の皆さんや保護者・教職員の方々に向け、進路に関する様々な情報や、各学習グループにおけるキャリア教育の取り組みなどを「進路便りわーく&らいふ」でお伝えしていきます。各ご家庭へお配りするのはモノクロ印刷ですが、本校ホームページではカラー版をご覧ください。随時更新していきますので御覧ください。（右のQRコードからご覧いただけます。）年間どうぞよろしくお願いいたします。さて、本年度も進路便り第1号の冒頭は、恒例の「学校長寄稿」です。



【学校長寄稿】

縦と横のつながりつくる～支援を未来につなげよう～

校長 福田文子



今年度から、高等部一般学級が岱志高等学校の校舎に移転し、新たなスタートを切りました。先日、本校生と岱志高校の生徒さんたちとの対面式があり、自己紹介や学校紹介とおして、お互いを知る第一歩を踏み出したところです。また、小学部、中学部、小・中・高等部重複学級においても、新しい子どもたちや新しい先生を迎え、にぎやかな日常が戻ってきています。

さて、教育支援を子どもたちの未来につなげるために、縦と横のつながりを大切にしなければならないと考えています。「縦のつながり」は、小学部（小学校）、中学部（中学校）、高等部、そして自立・社会参加と続くつながり。具体的には、個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた連続性のある教育活動です。保護者や子どもの思いを反映し、実態を的確に把握したうえで、明確な目標と、具体的な手立てを基になされる教育活動が、次のステージにつながっていくという「縦のつな

がり」は、当然重要であり、しっかりと学校が取り組むべきことです。

その「縦のつながり」とともに、大切なことが「横のつながり」、つまりクラスの友だちや学校の先生、同級生や異年齢の児童生徒、他校の児童生徒、そして地域の方々とのつながりです。そしてそれには、「他者とかかわる力」の育成が欠かせません。自分の気持ちを相手に伝えること、相手の気持ちを受容すること、自分を客観的に見つめ評価すること、他者からの評価を受け入れることなど、コミュニケーションを図る力には様々な側面がありますが、子どもたちにはこの「他者とかかわる力」を是非身に付けて欲しいと願っています。そしてそのためには、他者とかかわる経験を積み重ねることが必要です。

本校では、小・中・高とそれぞれのステージで、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、仲間と共に活動し、共に学び合い、認め合い、人と関わることのすばらしさを感じられるような様々な学習や体験活動に取り組みます。また、本年度から高等部一般学級に職業コースを設置し、従前の現場実習に加えて、「デュアルシステム型現場実習（実習と授業を組み合わせる形での現場実習）」を始めます。まさに地域社会に飛び込んでの活動です。社会の中で豊かに生きるために必要な「他者とかかわる力」の育成に向けて、ご家庭においても子どもさんと相談されながら、経験を重ねていただけたらと思います。

■【トピック】令和4年度卒業生の進路状況

福祉サービスの利用	生活介護（通所）	2
	生活介護（施設入所）	2
	就労継続支援A型	6
	就労継続支援B型	6
	就労移行支援	2
一般企業等への就職		8

4月から26人の卒業生が、それぞれ新しい場所で新生活を始めます。学校からは「追指導（アフターフォロー）のため、進路担当者や卒業時の担任が進路先を訪問したりご家族や相談員さんと連絡をとるなどしながら社会人1年目のスタートをサポートしていきます。

令和4年度の進路の特徴は、一般企業就職が多く、この10年間で最多です。ただし就職はゴールではなくスタート地点にただけです。職に就くよりも、長く働き続けることが難しいことを私たちは十分に知り、家族・会社・ハローワークなどの専門機関・学校が連携していくことが重要です。

編集後記

本年度の進路指導員は下のメンバーです。各学習グループに担当者がおりますので、進路や福祉サービスに関する疑問・質問等はお気軽にお寄せください。年間どうぞよろしくお願い致します。

小学部一般学級（境）、中学部一般学級（吉村） 高等部一般学級（奥村、大野、原口、谷口）重複障がい学級（佐藤）

